

源君諸宗御信作の事

武時 源君の所系より神宗の祖尚とほ者の時祖尚より
源君を鬼角神仏より一節は信作の宜しき所とて
一向の事振の事とよりしれども 上云ふ成程神仏の
信心より道徳の徳よりなるものなるもの一節は信を
宜しき所なり 神宗の諸神法は八宗九宗と信を以て上の
好む所よりあるものなるもの一宗と信し他と捨る所の法宗
かのつとて捨るものなるもの一宗と信し他と捨る所の法宗
一節の事也

徳川家三傑の事

関原原津津の付福鴻は徳美 源君より神宗の御事
井伊義元は中平の御事 神宗より中平とせよと傳へし傳れ
る勇士と賞給ふるものなり 作よりしるものなり
彼の人よりしるものなり 勇士と傳へしるものなり 上云ふ名と
さしるものなり 作よりしるものなり 是は云葉の来配るものなり

明智光秀の事

明智光秀は美濃國の城主 羽藤新其より押領す